

あがつま



『わたしたちは見えるものではなく
見えないものに目を注ぎます。
見えるものは過ぎ去りますが、
見えないものは永遠に存続するからです』

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章18節)

♪ 賛美歌を歌おう④
『ひとたびは死にし身も』
(讃美歌 54年版 532番)
好きな賛美歌投票で、よく
上位に選ばれるとても人気の
あるこの賛美歌は、米国のダ
ニエル・W・ワイトル(1840-1905)
によって創作されました。
ワイトルが21歳となった頃、
奴隷制度を巡って米国を二分
した南北戦争が勃発しまし
た。彼は北軍で少佐にまで昇
格しましたが、戦闘で右腕の
肘から先を失い前線を退きま
す。彼は失意の中、出兵の際
に母から渡された新約聖書を
何度も読み返していました。
ある時彼の様子を見ていた看
護師から、罪悪感にさいなま
れている若い傷病兵のため
祈っている若いと頼まれ、こ
ことをきっかりとウイトルは
信仰に目覚めたといえます。

南北戦争終結後、ワイトル
は伝道者となり、その巡回伝
道活動の中で200曲以上の賛
美歌を作りました。また、
旋律はワイトルの実の娘であ
るメイ・ワイトル(1870-1963)
が、父の賛美歌詞のために作
曲しています。
邦訳は、原詞の中で幾度と
なく繰り返されているフレー
ズ「moment by moment (刻一刻
と)」を、「昼となく夜とな
く」と訳すなど、かなり大胆
な意訳が成されているもの
の、訳詞を旋律と調和させる
ことに成功しています。残念
ながら訳者までは調べざるこ
とができませんが、この
素晴らしい賛美歌を、この
素晴らしい訳詞で歌うことが
できる幸せを思います。
(稲垣)

